

神奈川代協説明会開く

非会員や保険会社社員が参加 代理店賠償の有用性訴える

協力呼びかける廣瀬会長



神奈川代協は10月24日、厚木市の損保ジャパノ日本興亜神奈川支店で神奈川代協説明会を開いた。当日は会員代理店や非会員代理店、保険会社社員など約40名が参加す

るなか、代協メンバーが代協の概要や各支部の活動内容、日本代協の取り組みなどについて説明した。

日本代協の活動実績について紹介した神奈川代協組織委員長の城英雄氏は、日本代協の会員代理店が加入できる代理店賠償の有用性を力説。自身も、代理店賠償に加入したことで、代協加入のメリットが感じられたと述べた。

当日はこのほか、損保協会と日本代協が共同で進める損害保険大学課程の説明や神奈川代協が提携する各種サービス事業者の紹介、各支部委員長による支部紹介などが行われた。

神奈川代協の廣瀬会長は非会員代理店や保険各社に向けて「代協の活動内容を理解いただき、より魅力的な代協をつくるために協力してもらいたい」と呼びかけた。

神奈川代協では今年2月に、第1回の代協説明会を開き、今回は2回目の開催となる。

神奈川代協の廣瀬会長は非会員代理店や保険各社に向けて「代協の活動内容を理解いただき、より魅力的な代協をつくるために協力してもらいたい」と呼びかけた。

神奈川代協では今年2月に、第1回の代協説明会を開き、今回は2回目の開催となる。

神奈川代協では今年2月に、第1回の代協説明会を開き、今回は2回目の開催となる。

神奈川代協では今年2月に、第1回の代協説明会を開き、今回は2回目の開催となる。